正式名称	因島技術センター
場所 アクセス	広島県尾道市因島土生町 2418-2（日立造船株式会社因島工場） 土生港バス停から徒歩 15 分（土生港までは、広島・福山・尾道から路線バスあり）
技術センターの概要	1　沿革 1991 年に尾道市の基幹産業である造船業・舶用工業の技能伝承と次世代人材育成を目的に設立された職業訓練学校。 研修生は全国各地から受け入れており、1993 年には広島県知事より、造船業では初となる「共同認定職業訓練校」の認定を受け、費用対効果の高さと修了生の定着率の高さから「人財育成の因島モデル」として高い評価を得ている。 2　運営 因島技術センターは、地域の造船事業者と尾道市（担当：因島総合支所しまおこし課）が共同で運営協議会を設置し、運営に当たっている。 ＊「因島モデル」については、下記に記載。
安全体感研修概要	研修期間：半日（3 時間 30 分程度） (1)午前の部　 8 時 30 分～12 時 00 分 (2)午後の部　13 時 00 分～16 時 30 分 実施時期：(1)定期開講（7 月、9 月、11 月、1 月、3 月の月あたり 3 日開催：年間 30 回） (2)オーダー型開講（10 名以上の申し込みで随時開講） ※(1)(2) 4 月～6 月は、初任者研修期間のため実施なし 募集対象：誰でも受講可 研修定員：1 日 40 名程度（午前の部 20 名、午後の部 20 名） 研修場所：日立造船株式会社因島工場 内海造船株式会社 受講料金：3,300 円/人
研修内容	1.座学講義、レポート質疑応答（1.5 時間） 映像教材と投影資料を利用し、労働災害の種類や予防方法を学ぶ 2.体感項目（2 時間：27 項目） 高所危険体感 ①安全帯の正しい着用 ②安全帯負荷 ③高所及び手摺開口部の危険 ④飛来落下の危険 ⑤落下の衝撃Ⅰ ⑥落下の衝撃Ⅱ

⑦垂直タラップ昇降の危険
⑧梯子昇降の危険
⑨脚立の危険

回転体危険体感

⑩ドリル巻込まれの危険

軍手がドリルに少し触れると、瞬時に巻き込まれるので回転体の恐ろしさが実感できる。

電気危険体感

⑪低圧電気の危険（感電）

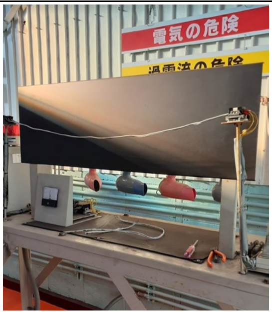
自分で感電強度を感じながら電流を上げていき、感電の状況を体験出来る。

⑫生切りアークの危険

スイッチの生切り（負荷電流が流れている状態で断路器を開くこと）による危険性を体感できる。

⑬蛸足配線、過電流の危険

４台のドライヤーを同時に稼働すると数秒で電気コードから煙が発生。台上のコードは実験後の焼けたコード。



玉掛作業危険体感

⑭手、指挟まれの危険

ワイヤーと吊荷の間に手や指に見立てた竹を入れ、巻き上げた場合の挟まれを体感できる。

⑮一本吊りの危険

一本吊りで負荷をかけた時に、フックが回転する事による危険を体験できる。

⑯荷振れの危険

吊荷とクレーンフックの重心が取れていない状態で荷を巻き上げて、壁と吊荷との間にマネキンが挟まれる状態を体感できる。

⑰重量目測の危険

大きさの異なる品物を見た目だけで判断せずに、物を持ち上げる時は安易に持たないことを体感できる。

その他の危険体感

⑱溶接ヒュームの危険（粉塵）
⑲酸欠の危険
⑳油圧、空圧パワーの危険
㉑レバーブロックの危険Ⅰ
㉒レバーブロックの危険 II
㉓鉄板転倒、落下の危険

鉄板を靴の上に転倒させ、靴の中の竹が割れる事で、安全靴の重要性を体験できる。

㉔火傷の危険
㉕AED 体感

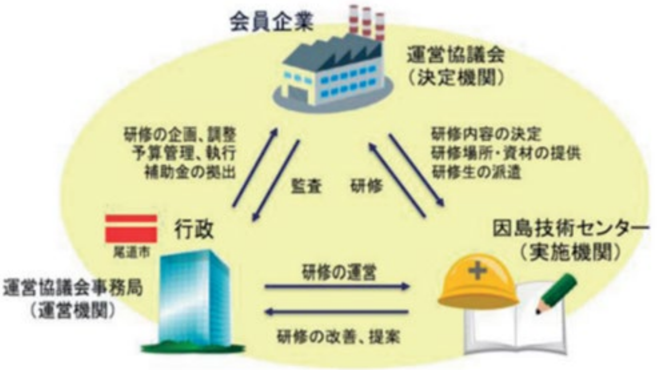
AED の操作方法だけでなく、訓練人形による人工呼吸のトレーニングを体験できる。

㉖滑り・転倒の危険

通路の中に「平板」「足場板」「ボールローラー」「縞鋼板」「フリーローラー」が敷設されており、この上を歩行して滑り・転倒の危険性を体感できる。

㉗溶剤爆発の危険

3. レポート・質疑応答（0.5 時間）

<table>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>「因島モデル」説明</td><td>独自の職業訓練施設を持てない中小企業でも、持続的かつ効率的に人材育成が行える事業モデルで、①官民一体となった事業の形成、②共同職業訓練のオープン化（募集対象の制限なし）、③ヒト・モノ・カネの有機的活用の３つが評価されている。
③についての詳細は次のとおり。
ヒト＝大手造船事業者を退職した人材育成の経験者、現場の職長経験者が指導
モノ＝常設でなく研修時だけの仮設や借用を中心とした施設
カネ＝人件費は OB の力を借りることで低く抑え、研修用資材費は可能な限り指導員が手作りするなどしている。
因島での人材育成モデルと研修ノウハウを基に同様の研修センターが今治、大分、横浜、長崎、相生に設立されている。

</td></tr>
<tr><td>感想</td><td>・受講者
「安全体験研修」は、2010 年から実施されており、受講者は 5,216 名にのぼる。
当日の受講者はメーカーのフィールドサービス、運送業・鉱業に携わる社員などで、尾道市外や広島県外から来たものと見受けられ、因島技術センターが「安全体感研修」を幅広く受けていることが伺えた。
・研修の工夫
座学研修では、事故の統計データ、次の体感研修につながる近隣造船所の事故事例、事故発生の要因、事故が起きたらどうしたら良いかを学んだ。
当日の体感研修の指導は６グループに分かれ、１グループ 4 名で対応いただき、27 もの種類の体験を全員が実施できた。また、スペースはコンパクトにまとめられており、各体感コーナーに事故事例が現場写真とともに掲示されている。ポイントを捉えたイラストも貼りだされていて効果的である。
・今後について
運営費用について日本海事協会の助成はあるが、受講料収入が主となっており、安定した受講者数が必要と考えられる。
社内研修プログラムに同センターの「安全体感研修」を組み入れている会社もあるということで、受講履歴のある会社に研修のご案内を含んだメールマガジンを発信するなど同センター側から働きか</td></tr>
</table>

	けが必要と思う。
周辺情報	因島へは尾道・福山および広島からバスが出ている。因島には宿泊施設が少ないので、尾道・福山を起点に観光することとなる。 因島　土生（はぶ）港　今治・三原を結ぶ定期航路がある港 大山神社　土生港から徒歩 20 分の高台にある神社。見晴らしが素晴らしい。 因島水軍城　因島村上氏が残した武具や遺品、古文書など歴史資料を展示している。 しまなみ海道（広島県尾道市から愛媛県今治市までの瀬戸内海に浮かぶ 6 つの島（向島、因島、生口島、大三島、伯方島、大島）を、7 つの橋で結ぶ全長約 60km の道路。サイクリストの聖地として知られる。） 尾道　映画のロケ地や林芙美子所縁の地として知られる。尾道から近くの島へ渡船が出ており、学生の通学風景も風情がある。（画像は千光寺公園から） 福山（福山城）　福山駅の近くに福山城があり、多くの資料展示と CG での乗馬体験、射撃体験が出来る。
当該施設の 関連サイト	因島技術センター https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/itc/ 「安全体感研修」 https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/itc/42031.html
見学日	2023 年 11 月 14 日
見学記作成	見学記作成にあたっては、尾道市ホームページ「因島技術センター」および 2011 年 3 月発行「技能と技術」官民一体となった地域

	基幹産業における人材育成法　尾道市因島総合支所しまおこし課 若住堅太郎著　を参考とした。 原案：渡辺　加筆：中山 写真：渡辺　中山